
令和4年度 前期終業式 校長挨拶

令和4年9月28日（水）

- ・ 皆さん、「こんにちは」
- ・ 令和4年度もあっという間に6か月が過ぎました。今日までで登校してきた日は96日でした。後期は105日学校があります。ほぼ半分です。
- ・ まだまだコロナの関係で窮屈な学校生活を強いられる場面もあるかと思いますが、概ね日常の学校生活が取り戻せたかとも感じています。
- ・ さて、夏季休業明けの全校集会では素振りをして軸がぶれないようにという話をしました。
- ・ 今日は前期の最後に「発明」の話をします。
- ・ ここ数年コロナ関連で健康に関わるグッズが注目を集めています。今日はそれらを持ってきました。まずは体温計。正確ですが約1分かかります。次に消毒液。ポンプ形式で手に消毒液を取ることができます。推すところは接触します。
- ・ 次にこれはどうでしょうか。
- ・ 生徒玄関から持ってきました。これは一挙に両方ができます。しかも両方とも非接触です。
- ・ 顔を近づけると体温が測定され、手をかざすと一定量の消毒液が噴霧されます。
- ・ 毎日何気なく使っていますが、凄い発明だと思います。
- ・ これらは誰かが思いつき、人の役に立てるようにと開発されたものです。
- ・ その後企業で試行錯誤を重ね、このような便利な製品が市場に出回るようになりました。
- ・ 大切なのは最初にこれを思いついた人です。
- ・ 高校での教科の学習や部活動、委員会活動等様々な活動を通して、新たな発想、アイデアを生み出すことはとても大切です。
- ・ ぜひ発明する力を身に付けて人の役に立つものをたくさん開発してください。
- ・ 以上前期終業式の校長からの話とします。